



南アルプス市立 白根飯野小学校 学校だより

学校教育目標

「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」

10月号

令和元年 10月7日

編集 校長 岡こずえ

「うちがく（家学）がんばりしゅうかん」が始まりました

運動会という大きな行事が終わりました。保護者の皆様方をはじめ、多くの地域の方々に見守られ練習の成果を発揮することができた子どもたちの表情はとても生き生きとしていました。この取り組みを通してクラスの仲間や異年齢集団と積極的に関わることや、新しいことにチャレンジする楽しさなどを試行錯誤しながら「なりたい自分」にまた一歩近づけたのではないかと思います。保護者の皆様には、当日の運営にかかわって駐車へのご配慮、あとかたづけ等ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

さて、本日から1週間で「うちがくがんばりしゅうかん」として、家庭学習を習慣化し、学力向上につながる取り組みを行います。本校の児童は、素直で明るくよく働く児童がほとんどです。しかし、学校評価の結果から、家庭での学習時間が少ない児童が多い等の課題があります。そこで、全校児童を対象に短期間ではありますが、習慣化のきっかけづくりを一斉に行うことにしました。

学校教育目標「たくましく生きぬく子ども」であるためには、自分の考えをもつとともに、他者の考えを理解し、人とのコミュニケーション力を高めることが大切だと考えます。その基礎として、やはり自分と向き合う家庭学習をきちんと行い、基礎学力を定着することが重要です。

水道の蛇口からポツン、ポツンとわずかにコップに落ちる水を想像してみてください。とても効率が悪いようですが、長い時間続けていれば、いつかいっぱいになって溢れ出てきます。そんなことをイメージしながら無理せず少しずつ真面目に努力することの大切さをご家庭でも教えてあげてください。私たち教員も校内研修会で学びあいを中心とした授業力を向上させるための努力を継続して研究し、実践していきます。



心が変われば行動が変わる。
行動が変われば習慣が変わる。
習慣が変われば人格が変わる。
人格が変われば運命が変わる。

出典ウィリアム・ジェイムズ（近代心理学の父）より

委員会や学級の係活動、給食などの当番活動、黙動自問清掃などの「行動」もしっかり行いましょう。

